

浮世絵で めぐる 横浜の名所



2019 2.2^{sat} 土 ~ 4.21^{sun} 日

【入館料】一般 200 円、小・中学生 100 円

団体 (20 人以上) 割引あり

【開館時間】9:30 ~ 17:00

2 月 22 日、3 月 29 日は展示室のみ 19:00 まで開館 (入館は閉館の 30 分前まで)

【休館日】月曜日 (2 月 11 日は開館)、2 月 12 日

主催：横浜開港資料館

共催：横浜市教育局

後援：朝日新聞横浜総局／神奈川新聞社／産経新聞社横浜総局／東京新聞横浜支局／
毎日新聞社横浜支局／読売新聞横浜支局／NHK 横浜放送局／+tvk

会場：横浜開港資料館 企画展示室



浮世絵でめぐる横浜の名所



①



②



③



④



⑤

平成31年(2019)は、安政6年(1859)の横浜開港から160周年にあたります。本展示では、これを記念して、日本人の絵師によって描かれた浮世絵を題材に、開港により新たな「名所」となった「開港場・横浜」の風景について、名所を見る視線に注目しつつ、紹介します。

開港場・横浜が新たな名所となった理由は、江戸から一日行程の範囲、かつ当時の主要な陸路であった東海道に近接する地点に、異国の人々と彼らがもたらしたさまざまな物品や風俗を見聞できる場所が成立したことによります。また、東海道53次が既に名所として浮世絵の題材になっていたことが前提にあったと思われます。

本展示では、こうした近世後期から近代初頭における「名所」としての横浜のあり方を、①神奈川宿台町からの眺望対象の一つであった19世紀前半、②開港場全体が一つの名所となる開港の直後、③浮世絵に描かれた視線が開港場の内部に入り込み、開港場やその周辺に存在する個別の地点がそれぞれ名所化していく段階の、3つに区分して紹介していきます。

展示構成

- I. 神奈川宿台町から横浜への視線
- II. 東海道から開港場へ
- III. 開港場の賑わい
- IV. 横浜名所あれこれ
- V. 吉田橋と鉄道

- ①東海道五拾三次之内(保永堂版) 神奈川 台之景 初代広重
 - ②神奈川台石崎楼上十五景一望之図 安政5年(1858) 初代広重
 - ③横浜海岸図会 万延元年(1860) 2代広重
 - ④神名川横浜新開港図 万延元年(1860) 貞秀
 - ⑤横浜波止場ヨリ海岸通異人館之真図 明治4年(1872) 3代広重
- ※いずれも当館所蔵

展示関連事業

(1) 展示関連講座：展示担当者によるテーマごとの解説講座

日程・内容：

2月16日(土)「神奈川宿台町からの眺望」

3月2日(土)「開港場横浜と横浜双六」

3月16日(土)「吉田橋と鉄道」

時 間：14:00～15:00(各回) 会場：当館講堂

受講料：1回につき200円 定員：当日先着80名

受付方法：当日13:45より会場にて受付

(2) 展示説明：展示担当者による展示の概要説明

日 程：3月9日(土)、21日(木・祝)、4月6日(土)

時 間：14:00～15:00(各回) 会場：当館講堂

参加費：無料(各回共、当日の入館券が必要)

定員：当日先着50名

受付方法：当日13:45より会場にて受付

(3) 展示案内：展示担当者による企画展示室案内

日 時：2月11日(月・祝) 14:00～

2月22日(金) 18:00～

3月29日(金) 18:00～

4月20日(土) 14:00～

(いずれも30分程度)

参加費：無料(入館券が必要) 定員：当日先着20名

受付方法：当日開始時間に企画展示室入口集合

横浜開港資料館

〒231-0021 横浜市中区日本大通3

TEL: 045-201-2100 <http://www.kaikou.city.yokohama.jp/>

●みなとみらい線「日本大通り」駅③番出口から徒歩2分

●JR「関内」駅南口・市営地下鉄「関内」駅下車徒歩15分

●JR「桜木町」駅から市営バス「日本大通り」駅県庁前・「大根橋」下車徒歩1分

次回展示
予 告

古写真にみる開港場横浜(仮称)

2019年4月27日(土)～7月15日(月・祝)(予定)

